

令和8年度

入学者募集要項



山形県立新庄志誠館高等学校

全日制の課程
(普通科・探究科)

山形県新庄市大字飛田字備前川 61 番地
〒996-0061 電話 (0233)22-6022
FAX (0233)22-4961

目 次

I.	教育目標と入学者の受け入れに関する方針、学習内容の特色等	P.1
II.	入学志願	P.2
III.	前期(特色)選抜	P.3
IV.	後期(一般)選抜	P.6
V.	その他	
1.	入学料	P.10
2.	合格者説明会	P.10
3.	[参考]諸経費納入額(予定)	P.10
4.	[参考]入学時における経費	P.11
5.	奨学金について	P.11
6.	令和8年度入学者教育課程表	P.12

I. 教育目標と入学者の受け入れに関する方針、学習内容の特色等

1. スクール・ミッション/スクール・ポリシー

全日制普通科

○ スクール・ミッション(社会的役割等)

豊かな人間性と郷土を愛する心を基盤としながら、幅広い分野での探究的な学びと体験・実践を伴った協働的な学びを通して広い視野と新たな見方や考え方を身につけ、未来を切り拓く高い志と新たな価値の創造に挑戦する姿勢をもって社会の発展に貢献できる人材を育成します。

○ スクール・ポリシー(三つの方針)

(1) グラデュエーション・ポリシー(育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 個性を尊重し、多様な価値観を受容する柔軟な心を育てます。
- 地域の伝統と文化を尊重し、地域への課題意識を持って社会の発展に貢献する態度を育てます。
- 多様な人々との関わりを通して自らの特性を理解し、自らの考えを持って逞しく行動できる力を育てます。

(2) カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 多様な選択科目を充実させ、幅広い進路、一人一人の興味・関心に対応した学びを開します。
- 幅広い分野で知見を深める学びによる新たな見方・考え方ができる学習活動を開します。
- 異文化理解を深め、国際的な視野を広げる機会を設けます。
- 地域社会が抱える問題の解決に向け、地域との協働を通じた探究活動を開します。
- 創造的な表現や豊かな感性を育む、音楽・美術・書道等の芸術教育を開します。

(3) アドミッション・ポリシー(入学者受入れに関する方針)

- 多様な価値観を受け入れ、他者と協力しながら主体的に行動する生徒を募集します。
- 地域の伝統と文化を尊重し、社会の発展に貢献する生徒を募集します。
- 多方面の分野に挑戦し、自己の進路と真剣に向き合える生徒を募集します。

全日制探究科

○ スクール・ミッション(社会的役割等)

豊かな人間性と郷土を愛する心を基盤としながら、幅広い分野での探究的な学びと体験・実践を伴った協働的な学びを通して広い視野と新たな見方や考え方を身につけ、未来を切り拓く高い志と新たな価値の創造に挑戦する姿勢をもって社会の発展に貢献できる人材を育成します。

○ スクール・ポリシー(三つの方針)

(1) グラデュエーション・ポリシー(育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 個性を尊重し、多様な価値観を受容する柔軟な心を育てます。
- 地域の伝統と文化を尊重し、グローバルな視点を持って社会の発展に貢献する態度を育てます。
- 多様な人々と協働しながら、急激な社会的変化を乗り越え、高い志と自らの考えを持って逞しく行動できる力を育てます。

(2) カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 地域社会が抱える問題の解決に向け、地域との協働を通じた広い視野からの探究活動を開きます。
- 異文化理解を深め、交流活動を通して、国際的な視野を広げる機会を設けます。
- 高度で先進的な学びなど、アカデミックな知見を深める新たな見方・考え方ができる学習活動を開きます。
- 自然科学分野または人文社会科学分野の専門教科の中で探究的な学習を通して、より深い学びを実践します。

(3) アドミッション・ポリシー(入学者受入れに関する方針)

- 多様な価値観を受け入れ、他者と協力しながら主体的に行動する生徒を募集します。
- 地域の伝統と文化を尊重し、社会の発展に貢献する生徒を募集します。
- 上級学校へ進学し、より高い学びに挑戦する目標と意欲を持つ生徒を募集します。

2. 最上地区県立高校再編整備計画について

最上地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)により、令和8年度に新庄北高校と新庄南高校を統合して新庄志誠館高校を開校します。新庄志誠館高校全日制については、現在の新庄北高校の校舎で学習することになります。

3. 県立新庄志誠館高等学校の入学者選抜について

県立新庄志誠館高等学校の入学者選抜に係る事務手続き等は、県立新庄志誠館高等学校開校準備室長(県立新庄北高等学校長)のもと、県立新庄北高等学校及び県立新庄南高等学校が行います。

志願先高等学校長は県立新庄志誠館高等学校開校準備室長(県立新庄北高等学校長)とします。

II. 入学志願

山形県教育委員会公告に基づき、「令和8年度 山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」(以下、「県要項」という。)に従って、入学者を募集します。

1. 入学定員

全日制の課程 普通科 120名

全日制の課程 探究科 80名(理数探究科と国際探究科をあわせて、探究科として募集します。)

III. 前期(特色)選抜

1. 募集する課程・学科、人員

全日制の課程 普通科 入学定員(120名)の50%以内

全日制の課程 探究科 入学定員(80名)の50%以内

2. 志願資格

全日制普通科

次の各号に該当するものとする。

- (1) 令和8年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校(以下「中学校」という。)を卒業する見込みの者のうち、次のすべての要件に該当する者。

①キャリア形成に係る要件

多方面の分野に挑戦し、自己の進路と真剣に向き合える者。

②成績評定に係る要件

評定合計が27以上の者。

- (2) 合格した場合は、入学が確約できる者。

全日制探究科

次の各号に該当するものとする。

- (1) 令和8年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校(以下「中学校」という。)を卒業する見込みの者のうち、次のすべての要件に該当する者。

①キャリア形成に係る要件

自然科学分野または人文社会科学分野について、より高い学びに挑戦する意欲を持ち、明確な進路目標のもと上級学校への進学を希望する者。

②成績評定に係る要件

評定合計が36以上の者。

- (2) 合格した場合は、入学が確約できる者。

*普通科および探究科について、志願者は、Web出願システム上で出願要件を満たしていることを証明する書類を添付する必要はありません。中学校から提出される調査書情報をもとに志願資格を確認します。

3. 通学区域

通学区域は、「山形県立中学校及び高等学校の通学区域に関する規則(昭和24年3月5日教育委員会規則第4号)により、東学区と北学区に居住する者。

4. 志願制限

- (1) 志願は、1人1学科とする。

- (2) 中高一貫教育における連携型入学者選抜との併願はできないものとする。

5. 学区外志願

- (1) 県内における学区外志願

事情により学区外から志願する場合は、学区外高等学校志願許可願(「県要項」別記様式第3号A)1部を県教育委員会教育長に提出し、許可を得るものとする。

(2) 県外からの志願

県外から志願する者は、当該都道府県の公立高等学校を志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、学区外高等学校志願許可願（「県要項」別記様式第3号A）1部を本県教育委員会教育長に提出し、許可（別記様式第3号B）を得るものとする。

6. 進路等相談

中学校長は、必要がある場合は、令和7年12月26日（金）17時までに、開校準備室長（新庄北高校長）に健康及び身体の状況について相談を行うことが望ましい。

7. 出願

(1) 出願に必要な手続

- ① 山形県公立学校Web出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200円を納付する。
- ② 中学校長は、山形県公立学校Web出願システムにより、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルとして提出する。

(2) 個別に必要な書類

- ① 自己申告書（「県要項」別記様式第4号）

入学者選抜にあたって特別な配慮等、必要がある場合は、進路等相談を踏まえ、開校準備室長（新庄北高校長）が認めた場合に、開校準備室長（新庄北高校長）あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。

- ② 区域外就学承諾書（通学する学校を所管する教育委員会が発行するもの）

区域外就学者のうち、現在の居住地が志願先高等学校の学区内である場合は、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。

(3) 志願受付期間

令和8年1月5日（月）から1月8日（木）12時までに手続きするものとする。

8. 検査

(1) 検査期日 令和8年1月20日（火）

(2) 検査会場 新庄北高等学校

(3) 集合（受付） 8時30分から8時45分（開場8時15分）

(4) 作文 時間50分、字数540字以上600字以内

(5) 面接 形態：集団面接、時間：20分程度、1グループ5人程度

(6) 携帯品 受検票、鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム、鉛筆削り、上履き

- ・受検票は、Web出願システム上で、令和8年1月14日（水）以降に印刷できます。
- ・芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
- ・連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り、使用してはならない。
- ・下敷の使用は認めない。
- ・その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。

(7) 日程

受付	8:30～8:45
説明	8:45～
作文	9:00～9:50
面接	10:10～

検査は面接をもって、終了となります。

9. 選抜

選抜は、調査書情報、検査の結果を総合して行うものとする。

【選抜基準】

(1) 配点比率(A調査書学習の記録:B調査書学習の記録以外:C面接:D作文)

A30:B20:C30:D20

(2) 評価の観点

- 集団面接
 - ① 目的意識
 - ② 人間性
 - ③ 前向きな姿勢・主体性
- 作文
 - ① 主題把握
 - ② 論理性
 - ③ 発想力

10. 選抜結果の通知

令和8年1月29日(木)16時に山形県公立学校Web出願システムにより前期(特色)選抜結果を通知する。ただし、合格者の発表は、令和8年3月17日(火)16時に行う。

11. 後期(一般)選抜への志願

前期(特色)選抜の合格内定者は、改めて他の高等学校に出願することはできない。前期(特色)選抜に漏れた者で、後期(一般)選抜を志願する者は、山形県公立学校Web出願システムで新たに後期(一般)選抜の志願情報の登録が必要となる。ただし、私立高等学校への志願変更あるいは、以降志願を行わない場合は、手続きを要しない。

なお、入学者選抜手数料の納付については、次のとおりとする。

(1) 県立高等学校間の場合

- ① 同一課程間の志願変更にあっては、改めて納付を要しない。
- ② 定時制の課程から全日制の課程への志願変更にあっては、入学者選抜手数料の差額分1,250円を納付する。

(2) 県立高等学校と市立高等学校間の場合

「山形市立商業高等学校授業料等徴収条例」により、改めて納付する。ただし、先に納付した分については還付を行わない。

IV. 後期(一般)選抜

1. 志願資格

次の各号に該当するものとする。

- (1) 令和8年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を修了(以下「卒業」という。)する見込みの者で令和8年度前期(特色)選抜及び中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第95条の各号のいずれかに該当する者。

2. 通学区域

通学区域は、「山形県立中学校及び高等学校の通学区域に関する規則(昭和24年3月5日教育委員会規則第4号)により、東学区と北学区に居住する者。

3. 募集人員

募集人員は、各学科の入学定員から前期(特色)選抜の合格内定者の数を減じた数とする。

4. 志願制限

- (1) 志願は、1人1校とする。
- (2) 全日制・定時制の両課程に志願することはできない。
- (3) 志望学科は第2志望まで認める。
- (4) 普通科を第1志望とした場合、探究科を第2志望にすることはできない。

5. 学区外志願

(1) 県内における学区外志願

事情により学区外から志願する場合は、学区外高等学校志願許可願(「県要項」別記様式第3号A)1部を県教育委員会教育長に提出し、許可を得るものとする。

(2) 県外からの志願

県外から志願する者は、当該都道府県の公立高等学校を志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和8年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願(「県要項」別記様式第3号A)1部を本県教育委員会教育長に提出し、許可(別記様式第3号B)を得るものとする。

6. 進路等相談

中学校長及び特別支援学校長は、入学者選抜にあたって特別な配慮等、必要がある場合は、令和8年1月30日(金)17時までに開校準備室長(新庄北高校長)に、健康及び身体の状況、希望学科、進路希望等について相談を行うことができる。

7. 出願

(1) 出願に必要な手続

- ① 山形県公立学校Web出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200円を納付する。
なお、前期(特色)選抜に漏れた者については、前項11を参照すること。

- ② 中学校長は、山形県公立学校Web出願システムにより、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルとして提出する。
- ③ 志願者に聴覚障がい者がいる場合、中学校長は、「聴力レベル(dB)」及び学力検査において配慮を必要とする事項を記した公文書を作成し、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。

(2) 個別に必要な書類

- ① 自己申告書(「県要項」別記様式第4号)

入学者選抜にあたって特別な配慮等、必要がある場合は、進路等相談を踏まえ、開校準備室長(新庄北高校長)が認めた場合に、開校準備室長(新庄北高校長)あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。

- ② 区域外就学承諾書(通学する学校を所管する教育委員会が発行するもの)

区域外就学者のうち、現在の居住地が志願先高等学校の学区内である場合は、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。

- ③ 在籍高等学校長の志願承諾書(在籍高等学校の任意様式)

高等学校に在籍のまま志願する場合は、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。

- ④ 住民票等

令和6年度以前の卒業者で、志願先高等学校が出身中学校の学区外、かつ、現在の居住地が志願先高等学校の学区内である場合は、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。

(3) 志願受付期間

令和8年2月18日(水)から2月24日(火)12時までに手続きするものとする。

(4) 出願に関する留意点

- ① 志願の取消しや締切り前の志願変更の対象者が確認された場合は、出身中学校長が開校準備室長(新庄北高校長)へ電話連絡する。その後、山形県公立学校Web出願システムにおいて必ず公文書を添付ファイルとして提出するとともに、取消しや志願先の変更を行うこと。
- ② 前期(特色)選抜の志願にかかわって志願先高等学校に調査書情報、評定概況及び学区外志願に係る書類等が登録済の場合は、登録を要しない。

8. 学力検査

(1) 検査期日 令和8年3月7日(土)

(2) 検査会場 新庄北高等学校

*検査当日、受検者の送迎等による本校敷地内への自家用車の乗り入れについては禁止する。

(3) 集合(受付) 8時15分(開場7時40分)

(4) 検査教科と時間

午前		午後	
8：50～9：40	国語	12：50～13：40	理科
10：00～10：50	数学	14：00～14：50 (14:00から約10分間は) リスニングテスト	外国語 (英語)
11：10～12：00	社会		

(5) 検査教科の配点

国語、社会、数学、理科、外国語(英語) 各100点

(6) 受検者の携帯品

① 受検票

*受検票は、Web出願システム上で、令和8年2月27日(金)以降に印刷できます。

② 鉛筆(シャープペンシルを含む)、消しゴム、定規(三角・直定規のいずれでもよい)、コンパス、鉛筆削り

(注) • 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
• 公式や法則等の書いてある筆記用具、及び分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。
• 電卓等の計算用具、計算機能・英単語表示機能・通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類を持参してはならない。
• 連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り、使用してはならない。
• 下敷の使用は認めない。
• その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。
• 聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

③ 上履き、昼食

9. 選抜

(1) 選抜の方法

選抜は、調査書情報及び学力検査の成績等に基づき、本校各学科の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。

- ① 選抜は、学力の総合段階及び調査書情報中の記載事項を主な資料として行う。
- ② 調査書情報中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は、普通科・探究科ともに4:6とする。
- ③ 令和6年度以前の卒業者については、学力の総合段階によらず、学力検査の成績及び出身中学校から登録された調査書情報等を主な資料として、総合的に判断して選抜を行う。

- ④ 特別支援学校及び特別支援学級在籍者については、その事情等に配慮して選抜を行う。
 - ⑤ 帰国子女等については、その事情等に配慮して選抜を行う。
- (2) 国立諸学校に合格した志願者の取扱い
- 在籍又は出身中学校長から、国立諸学校に合格し入学する旨報告のあった志願者については選抜から除外する。
- (3) 合格発表
- 合格者の発表は、令和8年3月17日(火)16時に山形県公立学校Web出願システムにより行う。

10. 個人情報の提供

受検者の個人情報(学力検査の教科別得点)の提供は、山形県公立学校Web出願システムにより行う。

11. 追検査

(1) 対象者

志願者のうち、次の(1)～(2)のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査、(以降、本検査という)の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受検の手続

- ① 追検査の受検を希望する者は、次のア～イの連絡等を行う。
 - ア 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。
 - イ 上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日まで在籍又は出身中学校長に提出する。
- ② 追検査の受検を希望する者の在籍又は出身中学校長は、次のア～エの連絡・報告を行う。
 - ア 3月6日(金)までに、追検査の対象者が確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、3月6日(金)15時までに開校準備室長(新庄北高校長)へ電話連絡する。
 - イ ②のア以降、3月7日(土)本検査当日の集合時刻までに、本検査を受検できない志願者が新たに確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、当日できるだけ速やかに開校準備室長(新庄北高校長)へ電話連絡する。
 - ウ ②のア、イに該当する生徒がいる場合、3月10日(火)15時までに、追検査受検願(「県要項」別記様式第5号)及び医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類を、山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。なお、やむを得ない事情により期限までに提出できない場合は、提出期限まで開校準備室長(新庄北高校長)に電話等で連絡した上で、速やかに提出する。
 - エ 対象者に対して受検にあたり、新たに特別な配慮が必要になった場合は、速やかにその旨を開校準備室長(新庄北高校長)に連絡する。

- ③ 3月11日(水)までに、追検査の受検を許可する旨を、中学校長を通して志願者に連絡する。開校準備室長(新庄北高校長)から中学校長への連絡は電話連絡とする。
- ④ 「追検査受検願」及び医師の診断書等、本検査を受検できない理由を証明する内容について疑義が生じた場合は、3月11日(水)12時までに中学校長あて照会する。

(3) 追検査の内容及び日時等

- ① 学力検査について
内容は7ページの「8. 学力検査」に準ずる。
- ② 検査日時
令和8年3月12日(木) 時間は本検査と同じ
- ③ 検査会場
新庄北高等学校

(4) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

V. その他

1. 入学料

全日制(普通科および探究科) 5,650円(山形県収入証紙で納付)

2. 合格者説明会

令和8年3月25日(水) 午前

合格者・保護者を対象に実施予定。日程と詳細は、山形県公立学校Web出願システム内の「選抜結果確認画面」下部の「合格者向け資料ダウンロード」から確認のこと。

3. [参考]諸経費納入額(予定)

令和8年度:新庄志誠館高校全日制予定額(単位:円)

授業料	118,800
P T A 会 費	6,000
生徒会費	12,000
教育後援会費	8,400
課外活動後援会費	9,600
修学旅行積立	55,000
合計	209,800

(注)・令和8年度入学生における1年間の予定額です。

- ・授業料以外の学校徴収金は、5月～11月の7回に分けて口座振替されます。
- ・就学支援金の申請を行い、認定を受けた方は、原則、授業料の納付が不要となります。

4. [参考]入学時における経費

令和7年度:新庄北高校全日制の例(単位:円)

入 学 料	5,650
教 科 書 等	音楽選択の場合 24,827
	美術選択の場合 26,223
学 習 図 書 等	86,000
制 服	スラックスセット 約 36,500
	スカートセット 約 39,500
運動着代金等	18,700

(注)「学習図書等」には「年次運営費」「模擬試験代金等」「その他諸経費」を含みます。

5. 奨学金について

山形県高等学校奨学金 18,000 円(月額・自宅通学)・23,000 円(月額・自宅外)
希望者の中から選考して貸与されます。

6. 令和8年度入学者教育課程表

次頁に記載しております。

令和8年度入学者 山形県立新庄志誠館高等学校 全日制普通科 教育課程表

◎必履修科目 ○選択必履修科目 ◇学校設定科目

教科	科目 (学校設定科目開設年度)	標準 単位数	年次別単位数				備考
			1年	2年	3年	計	
国語	現代の国語	2 ◎	2			2	①、②、③、④からそれぞれ1科目選択する。 △2・3年次で1科目ずつ選択する。
	言語文化	2 ◎	3			3	
	論理国語	4		2	2	4	
	国語表現	4		①2		0・2	
	古典探究	4		2	2	4	
	国語探究 (R8)	◇			②2	0・2	
地理歴史	地理総合	2 ◎	2			2	☆「地理探究」又は「日本史探究」から1科目選択し、2・3年次の継続履修とする。
	地理探究	3		☆2	☆3	0・5	
	歴史総合	2 ◎	2			2	
	日本史探究	3		☆2	☆3	0・5	
公民	公共	2 ◎		2		2	△「発展数学γ」は、2年次に「数学B」を履修、かつ3年次に「発展数学β」を選択した場合に選択可。
	倫理	2			④3	0・3	
	政治・経済	2			④3	0・3	
数学	数学I	3 ◎	3			3	☆「数学α」又は「数学β」は「化学基礎」を履修した場合に選択可。
	数学II	4		4		4	
	数学A	2	2			2	
	数学B	2		①2		0・2	
	発展数学α (R8)	◇			3	3	
	発展数学β (R8)	◇			②2	0・2	
理科	発展数学γ (R8)	◇			△2	0・2	●「音楽I」「美術I」「書道I」から1科目選択する。 「音楽II」は「音楽I」、「美術II」は「美術I」、「書道II」は「書道I」を履修後に選択可。
	科学と人間生活	2 ◎	2			2	
	化学基礎	2 ◎		△2		0・2	
	生物基礎	2 ◎		2		2	
	自然科学α (R8)	◇			③2	0・2	
保健体育	自然科学β (R8)	◇			④3	0・3	△「生涯スポーツ」は2・3年次合同の異年次履修。ただし、同一科目は2回履修できない。 △「生涯スポーツ」と「総合スポーツ」は同時選択不可。
	体育	7~8 ◎	2	2	3	7	
	保健	2 ◎	1	1		2	
	生涯スポーツ (R8)	◇		△2	△2	0・2	
芸術	総合スポーツ (R8)	◇			④3	0・3	●「音楽I」「美術I」「書道I」から1科目選択する。 「音楽II」は「音楽I」、「美術II」は「美術I」、「書道II」は「書道I」を履修後に選択可。
	音楽I	2 ◎	●2			0・2	
	美術I	2 ◎	●2			0・2	
	書道I	2 ◎	●2			0・2	
	音楽II	2			④3	0・3	
	美術II	2			④3	0・3	
	書道II	2			④3	0・3	
	芸術創造・音楽 (R8)	◇		△2	△2	0・2	
	芸術創造・美術 (R8)	◇		△2	△2	0・2	
	芸術創造・書道 (R8)	◇		△2	△2	0・2	
家庭	家庭基礎	2 ◎		2		2	△「芸術創造」は2・3年次合同の異年次履修。ただし、同一科目は2回履修できない。
情報	情報I	2 ◎	2			2	
外国語	英語コミュニケーションI	3 ◎	3			3	
	英語コミュニケーションII	4		5		5	
	論理・表現I	2	2			2	
	論理・表現II	2			2	2	
	Brushup English (R8)	◇			4	4	
	Advanced English (R8)	◇		①2		0・2	
共通教科・科目単位数合計			28	26・28	21~28	75~84	△「保育基礎」は2・3年次合同の異年次履修。ただし、同一科目は2回履修できない。 △「情報デザイン」は2・3年次合同の異年次履修。ただし、同一科目は2回履修できない。
家庭	保育基礎	2~6			△2	△2	
	フードデザイン	2~6				④3	
情報	情報デザイン	2~6			△2	△2	
	コンテン・クリエーション (R8)	◇				③2	
専門教科・科目単位数合計			0	0・2	0~7	0~9	
自己創造	自己創造 (R8)	◇			③2	0・2	
学校外 体験	校外学習 体験活動	◇	0・1・2	0・1・2	0・1・2	0・1・2	1つの学修の上限を2単位とする。
	総合的な探究の時間	3~6 ◎	1	1	1	3	
合計			29~33	29~33	29~33	87~91	
卒業までに修得すべき単位				74			
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	毎週木曜日6校時
	生徒会活動 (時間)						
	学校行事 (時間)						
	授業の1単位時間			50分			

△は異年次履修可能科目（各年次2単位まで。2年次で履修した科目は3年次で選択できない。）

令和8年度入学者 山形県立新庄志誠館高等学校 全日制探究科(理数探究科) 教育課程表

◎必履修科目 ○選択必履修科目 ◇学校設定科目

教科	科目 (学校設定科目開設年度)	標準 単位数	年次別単位数			
			1年	2年	3年	計
国語	現代の国語	2	◎	2		2
	言語文化	2	◎	3		3
	論理国語	4			2	4
	古典探究	4			2	4
地理歴史	地理総合	2	◎	2		2
	地理探究	3			☆2	☆2
	歴史総合	2	◎	2		2
	日本史探究	3			☆2	☆2
公民	公共	2	◎		2	2
数学	数学Ⅰ	3	◎	(3)		
	探究数学γ (R8)		◇			3
理科	物理基礎	2	◎	(2)		
	化学基礎	2	◎		(2)	
	生物基礎	2	◎	(2)		
保健体育	体育	7~8	◎	2	2	3
	保健	2	◎	1	1	2
芸術	音楽Ⅰ	2	○	●2		0・2
	美術Ⅰ	2	○	●2		0・2
	書道Ⅰ	2	○	●2		0・2
家庭	家庭基礎	2	◎		2	2
情報	情報Ⅰ	2	◎	2		2
	情報探究 (R8)		◇			1
理数	理数探究	2~5	◎		2	2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	(3)		
	コミュニケーション実践 (R8)		◇		2	2
共通教科・科目単位数合計			16	17	15	48
理数	理数数学Ⅰ	4~6	◎	5		5
	理数数学Ⅱ	7~11			4	4
	理数数学特論	2~6			2	2
	理数物理	2~6	◎	2	□2	□3
	理数化学	2~6	◎		3	4
	理数生物	2~6	◎	2	□2	□3
英語	総合英語Ⅰ	3~6	◎	3		3
	総合英語Ⅱ	4~6			3	3
	総合英語Ⅲ	4~6				4
	ディベート・ディスカッションⅠ	2~4		2		2
	専門教科・科目単位数合計			14	14	15
学校外 体験	校外学習 (R8)		◇	0・1・2	0・1・2	0・1・2
	体験活動 (R8)		◇	0・1・2	0・1・2	0・1・2
総合的な探究の時間		3~6	◎	1	(2)	1
合計			31~35	31~35	31~35	93~97
卒業までに修得すべき単位			74			
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3
	生徒会活動 (時間)					
	学校行事 (時間)					
授業の1単位時間			50分			

☆「地理探究」又は「日本史探究」から1科目選択し、
2・3年次の継続履修とする。

「数学Ⅰ」は「理数数学Ⅰ」で代替。

「物理基礎」は「理数物理」、「生物基礎」は「理数生物」、「化学基礎」は「理数化学」で代替。

●「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から1科目選択する。

「情報探究」は後期集中履修とする。

「英語コミュニケーションⅠ」は「総合英語Ⅰ」で代替。

□「理数物理」又は「理数生物」から1科目選択し、
2・3年次の継続履修とする。

令和8年度入学者 山形県立新庄志誠館高等学校 全日制探究科(国際探究科) 教育課程表

◎必履修科目 ○選択必履修科目 ◇学校設定科目

教科	科目 (学校設定科目開設年度)	標準 単位数	年次別単位数			
			1年	2年	3年	計
国語	現代の国語	2	◎	2		2
	言語文化	2	◎	3		3
	論理国語	4			2	4
	古典探究	4			2	4
	国語探究 (R8)		◇			2
地理歴史	地理総合	2	◎	2		2
	地理探究	3			☆2	☆▼3 0・3・5
	歴史総合	2	◎	2		2
	日本史探究	3			☆2	☆3 0・5
	世界史探究	3			☆2	☆▼3 0・3・5
公民	公共	2	◎		2	2
	倫理	2			▼3	0・3
	政治・経済	2			▼3	0・3
数学	数学Ⅰ	3	◎	(3)		
	数学Ⅱ	4			3	3
	数学B	2			2	2
	数学C	2			1	1
	探究数学α (R8)		◇			3 3
	探究数学β (R8)		◇			2 2
理科	物理基礎	2	◎	(2)		
	化学基礎	2	◎		2	2
	生物基礎	2	◎	(2)		
	自然科学探究α (R8)		◇		2	2
	自然科学探究β (R8)		◇			2 2
保健体育	体育	7~8	◎	2	2	3 7
	保健	2	◎	1	1	2
芸術	音楽Ⅰ	2	○	●2		0・2
	美術Ⅰ	2	○	●2		0・2
	書道Ⅰ	2	○	●2		0・2
家庭	家庭基礎	2	◎		2	2
	情報Ⅰ	2	◎	2		2
情報	情報探究 (R8)		◇			1 1
	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	(3)		
外国語	コミュニケーション実践 (R8)		◇		2 2	4
共通教科・科目単位数合計			16	25	25	66
理数	理数数学Ⅰ	4~6	◎	5		5
	理数物理	2~6	◎	2		2
	理数生物	2~6	◎	2		2
英語	総合英語Ⅰ	3~6	◎	3		3
	総合英語Ⅱ	4~6			4	4
	総合英語Ⅲ	4~6			5	5
	デバイ -ト・テ イスカッシュンⅠ	2~4		2		2
専門教科・科目単位数合計			14	4	5	23
学校外 体験	校外学習 (R8)		◇	0・1・2	0・1・2	0・1・2
	体験活動 (R8)		◇	0・1・2	0・1・2	0・1・2
総合的な探究の時間		3~6	◎	1	2	1 4
合計			31~35	31~35	31~35	93~97
卒業までに修得すべき単位			74			
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3 毎週木曜日 6校時
	生徒会活動 (時間)					
	学校行事 (時間)					
	授業の1単位時間		50分			

☆「地理探究」「日本史探究」「世界史探究」から1科目選択し、2・3年次の継続履修とする。

▼「地理探究」「世界史探究」「倫理」「政治・経済」から1科目選択する。ただし☆で選択した科目と同一科目は選択不可。

「数学Ⅰ」は「理数数学Ⅰ」で代替。
2年次は「数学B」を履修後に「数学C」を履修。

「物理基礎」は「理数物理」、「生物基礎」は「理数生物」で代替。

●「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から1科目選択する。

「情報探究」は後期集中履修とする。

「英語コミュニケーションⅠ」は「総合英語Ⅰ」で代替。